



平成31年4月6日

第1号

支笏湖小学校

校長 小川 亮男

平成31年度 学校重点教育目標

『実践力（できる）へとつながる学校教育活動の推進』

実践力（何ができるようになったか）を目指して

校長 小川 亮男

グラウンドの雪も消え、早くも土が乾き始め、穏やかな春の訪れを感じます。これから始まる春の息吹に期待が高まります。保護者の皆様、お子様のご進級おめでとうございます。

新元号も決まり、新しい時代の幕開けとしての平成31年度が始まりました。新入生がいないことは残念ですが、その分、落ち着いた雰囲気の中で新年度のスタートを切ることができます。新しい学年に進級した子どもたちの、期待や喜びにを大切に、笑顔あふれる学校を目指していきたいと考えています。

本校では、教育目標を定め、人間性豊かな知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指します。そうした中、**今年度の重点目標を『実践力（できる）へとつながる学校教育活動の推進』**とし、これまでの支笏湖小の教育をもとに、一層の実践化を図っていきます。

そこで、本校では今年度、次の点に力を入れて教育活動を展開していきます。

(1) 一人一人に基礎・基本を確実に定着させ活用する力を育てる（移行措置の再点検）

① **体験的な学習や繰り返し学習を重視するなど指導方法や指導体制を工夫し、基礎・基本を定着させる。**

② まとめや発表、話し合いなど、各教科等における言語活動や言語環境を充実させる。

③ 個人目標に基づいた個に対するきめ細かな指導を充実させる。

(2) 相手の立場に立つとともに自他のよさを認め、思いやりの心と自尊感情を育てる

① **「特別の教科 道徳」の時間の授業力向上を図ると共に、全教育活動を通して道徳教育を充実させる。**

② 全職員が一体となって、共通理解と共同歩調で積極的な生徒指導を推進する。

③ 自己肯定感や有用感を高める生徒指導の機能を生かした教育活動を充実させる。**（共感的人間関係・自己存在感・自己決定の場の設定）**

(3) 家庭や地域と連携し、地域の特性を生かした教育活動の充実を図る

① 体験活動・交流学习・ふるさと学習を充実させる。

② 家庭との連携を深め、生活習慣や学習習慣のさらなる確立を図る。

③ 相互理解を図る効果的な情報の発信・交流を進める。（情報の双方向化）

④ **コミュニティー・スクール（学校運営協議会制度）に向け準備を進め、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていく** <平成31年度実施>

(4) 学校における働き方改革を推進し職場環境の改善を図る

① 協同体制 業務の整理

② 「北海道アクションプラン」の推進

③ 保護者・地域社会への周知を進め理解を進める。

※『認めて、ほめて、励まし、伸ばす』を基本理念にし、地域・保護者の皆様に信頼される学校づくりに、教職員一同励んで参ります。変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い致します。